

# 地震の揺れを体験しました

1月におきた石川県能登半島地震では、住宅被害が8万棟を超え、そのうち全壊は8000棟を超えるという大きな災害がありました。命を守ることを一番に4組では、能登半島地震の大きな災害を教訓に防災教育を年間を通して行うことにしました。そのために災害発生のメカニズムを知ることや備え方・災害発生時の対処の仕方を学ぶこと等を実践することを目的に、「地震」を取り上げ学習することにしました。今回は実際に地面が揺れるとはどんなことなのかを知るため、消防署の方にお越しいただき、起震車による地震の揺れを体験しました。

起震車では震度3～震度7までの揺れを生徒たちが実際に体験しました。震度3の時は、「感じません。」と言って揺れはほとんど感じていないようでしたが、震度5ぐらいになると、身を守るようにしっかりと固定された机を握り、揺れの強さを体験しました。終わった後、「これは大変ですね。」等の驚きの声が生徒から聞こえてきました。

最後に、東日本大震災と阪神大震災の揺れの違いと、避難音等を体験し、揺れるということ＝地震災害であるということを身をもって体験することができました。また、その場合どのようにして身を守ればいいのか考える機会となりました。

